

平成26年（2014）9月2日～4日

平成26年度（2014）

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成26年度（2014）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月2日（火） 10:00 開会			9月3日（水） 10:00 開会			9月4日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	湯浅啓史	3	1	板倉明弘	13	1	原正雄	21
2	多々納剛人	4 ～ 5	2	小村吉一	14	2	岸道三	22
3	福島孝雄	6	3	保科孝充	15	3	渡部勝	23
4	勝部順子	7	4	井原優	16 ～ 17	4	板倉一郎	24
5	大国陽介	8 ～ 9	5	飯塚俊之	18	5	遠藤力一	25
6	川上幸博	10	6	伊藤繁満	19	6	大場利信	26 ～ 27
7	大谷良治	11	7	神門至	20	7	珍部全吾	28
8	米山広志	12						

質問者	3 湯 浅 啓 史		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 出雲市の財政状況と財政計画について		財政部長	
<p>① 平成24年度に策定された財政計画と比して、現在（平成25年度決算）の出雲市の財政状況はどうか。</p> <p>② 「実質公債費比率」「将来負担比率」について、類似団体との比較は可能か。</p> <p>ア 同等の人口規模（人口10万人～20万人）の平均値 イ 合併を行った市の平均値</p> <p>③ 「平成26年度から平成28年度までの3か年を行財政改革の集中改革期間とする」方針のもと、財政上はどのような目標を持つのか、具体的に平成28年度末時点の目標値を示されたい。</p> <p>ア 歳出規模 イ 市債残高 ウ 実質公債費比率 エ 将来負担比率</p>			
(2) 行財政改革の進捗と今後について		行政改革 部長	
<p>① 「平成26年度から平成28年度までの3か年を行財政改革の集中改革期間とする」方針のもと、平成28年度末時点の財政効果目標額を示されたい。</p> <p>② 以下の各項目についてどのように改革を進めるのか、その手順を示されたい。</p> <p>ア 事務事業の見直し イ 補助金・負担金の見直し ウ 公共施設の整理等 エ 指定管理者および契約内容の見直し</p> <p>③ 「ファシリティマネジメント」的手法を取り入れた、公共施設の効率的な運営への取り組みは、なぜ後回しにされるのか。</p>			

質問者	21 多々納剛人		答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事	
(1) 平成27年度介護保険制度の改正について		健康福祉 部長		
<p>① 制度の改正では現在の要支援サービスが廃止され、旧特定高齢者に対する介護予防と、要支援1. 2のものに対する介護予防が統合され新たな分野の「介護予防・日常生活支援総合事業」が創設されるのではないかと聞いている。制度改正では介護予防サービス（通所介護、訪問介護）は介護保険の本体給付から外れる事となるが、地域支援事業のなかで利用者へのサービス供給体制はどうなるのか以下を伺う。</p> <p>ア 出雲市はサービス供給体制をいつ頃までに整え、新たなサービスをいつ頃開始する予定なのか、そのスケジュールを伺う。</p> <p>イ 介護予防の利用者は全体の何%なのか、その内本体給付から外れる通所・訪問介護利用者の割合と給付費の割合を伺う。</p> <p>ウ この制度改正によって介護予防サービスの中身や給付費は現行と比べてどう変わるのか伺う。</p> <p>エ 小規模型通所介護事業所は市町村が指定・監督する地域密着型サービスへ移行すると聞いている。整備目標数や既存の事業所の指定は次期高齢者福祉計画で管理されることとなるのか伺う。</p> <p>オ 平成37年を目標年度に地域包括ケアシステムの構築が進められる予定と認識しているが、出雲市の今後の取り組みを伺う。</p>				
(2) 企業誘致策について		市長		
<p>① 若者の定住対策につながる企業誘致に対し、市長の所感を伺う。</p> <p>② 現在まで、どのように誘致策を進めておられるのかその取組を伺うと共に、トップセールスマンとして市長は企業訪問など誘致活動に積極的に係ると発言されていますが、これまでどのように係ってこられているのか伺う。</p> <p>③ 平成26年度当初予算の企業誘致促進費1億6,770万円の内、誘致活動経費は何にどれぐらい計上されているのか伺う。</p> <p>④ 誘致活動の成果として、今後分譲が予定される斐川中央工業団地や既存の工業団地などへ誘致が望まれる製造系業種やIT、ソフト産業系業種の立地希望企業は現在あるのか、また成約に至らなかった企業はあるのか、あるとすればその理由を伺う（平成26年度）。</p>				

⑤ 出雲市への企業誘致及び企業化支援貸工場の入居促進を図るため、情報を提供した者に対して成功報奨金を交付するものとし、出雲市企業立地成功報奨金制度があるが、その実施状況を伺う。		
------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

質問者	7 福島孝雄	答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事
(1) 出雲市の防災対策について		市長	
<p>① 広島での土砂災害をうけて出雲市としての防災計画見直しについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市の山間地の花崗岩土壌の割合を伺う イ 急傾斜地（イエロー・レッドゾーン）の指定及び、対策の見直しは有るのか伺う ウ 緊急避難指示の判断時期・伝達方法について伺う エ 高齢者、障がい者、他（災害時避難行動要支援者）の避難対策を伺う オ 地域ネットワークの活用について伺う カ ハザードマップの活用状況について伺う キ 災害危険地域での防災訓練状況を伺う <p>② 出雲市として広島への災害復旧支援について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 人的支援について イ 物資の支援について 			
(2) 不安視される、今後の農業経営について		市長	
<p>① 平成26年産米の概算金の状況を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 品種別の金額 イ 全国との比較 <p>② 平成27年の米・畑作の収入影響緩和対策の対象者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 経営規模緩和による対象者の変動を伺う <p>③ 平成30年以降の生産調整の動向を伺う。</p> <p>④ 政府の農業所得倍増目標に対し、出雲市としての農業所得安定対策を伺う。</p>			

質問者	26 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 迫る超高齢社会を、地域の絆で支えあう			
<p>① 1947年～49年前後生まれ（団塊世代）が、2025年には75歳以上になり、医療と介護の需要の急増が見込まれています。全国の自治体では、平成27年度からの第6期介護保険事業計画の策定に向けて、いわゆる2025年の姿を展望しながら、増高する保険料などに苦慮しながら取り組みが行われています。</p> <p>ア 日常生活圏域でのニーズ調査の実施と分析について（個人の実態、地域の課題）</p> <p>イ 第6期介護保険事業計画の策定作業について（3カ年の見通し・2025年までの中長期的なサービス量、保険料水準の推計）</p> <p>ウ 新しい、地域支援事業の取り組みについて</p> <p>エ 認知症高齢者対策の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">a 認知症の早期発見と予防</p> <p style="margin-left: 20px;">b 認知症地域支援推進員の配置</p> <p style="margin-left: 20px;">c 認知症サポーターの育成</p> <p>オ 高齢者の住まいの確保</p> <p style="margin-left: 20px;">a 特養などの施設入所の実態把握。（必要な利用者が入所できているのか）</p> <p style="margin-left: 20px;">b サービスつき高齢者向け住宅などの整備</p> <p style="margin-left: 20px;">c 低所得の高齢者の住まいの確保</p> <p>カ 高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度の推進について</p>		市長	

質問者	16 大 国 陽 介		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 子ども・子育て支援新制度の課題と見通しについて		子育て 調整監		
<p>① 来年4月から「新制度」がスタートするが、未確定の部分が多く保育現場や保護者の間で不安と戸惑いの声があがっている。何がどうなるのか直接説明する必要があると考えるが、いかがか。</p> <p>② 保護者の立場から言えば、認可保育所については、児童福祉法24条1項で市町村の保育実施義務が残ったため、現状とそう大きく変わらないことが予想できる。一方、保育の必要量の認定がどのようなものなのか、来年度以降の保育料がどうなるのか、未確定な部分もあり不安は尽きない。今後のスケジュールと合わせた説明を求める。</p> <p>③ 認定こども園や地域型保育（小規模保育事業や家庭的保育等）が、法24条2項で位置付けられている。2項の保育事業について市は「一定の関与」や「利用調整」となっているが、1項の保育所と同様に市が責任を負って制度を運用することを求めるが、いかがか。</p> <p>④ 施設・設備、職員の配置など、全ての保育事業について保育所と同等の基準を設けることを求めるが、いかがか。</p> <p>⑤ また、これらは1項の保育所とは制度的に大きく異なる施設・事業であり、保護者と施設との直接契約の施設・事業となり、保育料の徴収も事業者が行うことになる。将来の児童数の推計や現在の需給状況を踏まえて考えるとき、今後、2項で位置付けられている保育事業は出雲市においてどのようになると考えられるのか、見通しを伺う。</p>				
(2) 放課後児童クラブについて		市長		
<p>① 子ども子育て支援新制度への移行にあたって、少なくとも現在の基準（厚労省のガイドラインや市独自のルール）を下回ることなく、より充実させるという方針で臨む必要があると考えるが、いかがか。</p> <p>② 保護者負担についての考え方を示されたい。</p> <p>③ 国が示す基準では、専用区画の面積を「児童一人あたりおおむね1.65㎡」となっているがこれはあまりにも狭すぎる。居室面積は、玄関や廊下、手洗い、調理室、事務室、静養スペース等を除き、現状を踏まえ一人あたり2.5㎡程度を最低基準とすべきことを求めるが、いかがか。</p> <p>④ 国の示している基準では、児童の集団の規模についてこれまで「最大70人まで」としていたものが、「おおむね40人以下」と一定の改善はされた。国基準を下回ることなく対応することを求めるが、いかがか。</p> <p>⑤ 6年生までが対象となり、施設や人員の確保が急がれる。必要な予算を確保し計画的に対応されることを求めるが、いかがか。</p>				

<p>⑥ 指導員の正規雇用を進めるとともに、経験に応じた賃金となるよう昇給財源を確保すべきと考えるが、いかがか。</p>		
<p>(3) 高すぎる保険料の引き下げなど国民健康保険の改善を</p>		
<p>① 本市の国民健康保険の現状と課題をどのように認識しているのか伺う。(国保世帯数、被保険者数、滞納件数、保険料の推移、資格証・短期証の発行数も合わせて示されたい)</p> <p>② 国民健康保険制度は、憲法25条に基づく社会保障の制度であり、相互扶助の制度ではない。市の認識を伺う。</p> <p>③ 保険料が「高い」との認識はあるか。</p> <p>④ 国保法44条に基づく一部負担金の減免制度の拡充を求める。合わせて実績を示されたい。</p> <p>⑤ 市民の医療を受ける権利を委縮させる「資格証」、「短期証」の発行中止を求める。</p> <p>⑥ 高すぎる保険料は明らかに市民生活を圧迫しており、引き下げは急務の課題となっている。国や県に対し国庫負担の引き上げなどの財政支援を求めるとともに、一般会計からの繰り入れを決断することを求める。</p>	<p>市長</p>	
<p>(4) 税・保険料が払えない市民への対応について</p>		
<p>① 預貯金や給料などの差し押さえの判断基準を示されたい。</p> <p>② 財政部長は昨年12月の議会で「納税意識を持っている方に対して失望させるといふか、がっかりされるようなことがあるのは非常に残念なこと。その点については、今後とも適正な対応をするように、職員一同研修も重ねながら、努力するように指導していきたい」と答弁されている。その後の対応について具体的にどのようなことが行われたのか伺う。</p> <p>③ 滞納している税や保険料を払いたくても払えない市民に対し、無理のある納付を迫っている。相手の実情に即した対応となるよう改善することを求めるが、いかがか。</p>	<p>市長</p>	

質問者	22 川上幸博		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事	
(1) 新規就農者支援策と3F事業について伺う		農林水産 調整監		
<ul style="list-style-type: none"> ① 新規就農者の現状は ② 県、国及び市の支援制度について ③ 新規就農者のぶどうリースハウスの利活用の状況、およびその他特産物への就農状況について ④ Iターン者及びUターン新規就農者への農地と定住推進への住宅斡旋策を考える必要があると思うが、執行部の考えは如何 ⑤ 3年3期行われた3F事業の実績と出雲市農業に与えた効果について ⑥ 農業は、出雲市産業の中心と言われている。今年は、次期3F事業の更新期であるが、これからの3F事業への取り組み方針を伺う。 				
(2) ニート対策について		文化環境 部長		
<ul style="list-style-type: none"> ① ニートの現状と市としての自立への支援状況 ② スネップと言われる35歳以上の孤立無業の人たちの現状と対策を伺う ③ ニート並びにスネップの人たちへの就業に向けた指導は行われているのか伺う ④ いきいき子どもプランの後期次世代育成行動計画に、基本的な課題として、思春期、青年期の居場所づくりへの対応として居場所の確保は大きな課題であると認識されているが、担当部局としての対策は如何にしているのか伺う。また、次期行動計画策定に当たりどのような方針を持って臨まれるのか伺う。 				
(3) 農地転用申請の現状について		市長		
<ul style="list-style-type: none"> ① 農地転用申請のうち、太陽光パネル設置目的での申請数、農地部会及び委員会としての見解は ② ソーラーシェアリングと言われる営農をしながら転用申請をした場合、パネル設置及び作物の生産販売についての条件 ③ 現在のソーラーシェアリングを行われている状況。(市内、県内、中国地域内)とその地域での作付作物の状況 ④ 観光地と農地へのパネル設置での地域景観へ及ぼす影響は ⑤ 1行政2農業委員会設置の弊害はないのか 				

質問者	1 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 道路・河川の適切な維持管理について			
<p>① 市・県が管理する道路・河川の除草対策および川床の除草・堆積土砂対策について 昨今の異常気象の中で危機管理の面からも、川床の除草、立木の伐採、河川に堆積した土砂の撤去が必要と考えるが市としての取組状況と課題について伺う</p> <p>② 河川の点検、パトロールがどのように行われ、点検結果が通知されるのか。また、河川の適切な維持管理に要する事業の予算枠拡大するよう積極的に県へ働きかける必要がある。取組状況を伺う</p> <p>③ 市として、危険箇所など補修が必要な箇所について、どのように把握しているのか</p>		都市建設 部長	
(2) 障がい者ヘルプカード（仮称）の普及促進について			
<p>① 内部障がい者や聴覚障がい者、知的障がい者など、一見、障がい者とはわからない方が災害時、要援護者への対応と同時に、平時でも周囲に自己の障がいへの理解や助けを求めるツールとして障がい者への理解を深めるとともに、つながりのある地域づくりを目指すためにもヘルプカードを導入してはどうか。所見を伺う</p> <p>② 本市に「ヘルプカード」に類似したツールにはどのようなものがあるのか</p>		健康福祉 部長	

質問者	27	米 山 広 志	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 市の花「菊」		市長	
① 関係する団体に対する助成金 ② 市の花として啓発などの取り組み			
(2) 住宅空き家対策		市長	
① 市内の空き家の戸数 ② 所有者の分からない戸数 ③ 全国で約350団体が空き家対策に関する条例が制定されています。出雲市の今後の計画と対策方針			
(3) スポーツ振興事業関係補助金見直し		市長	
① 出雲市体育協会事業費補助金交付要綱の見直しは ② 8千万円の目標額になった算出根拠 ③ 補助金負担金などの交付先である関係団体への説明			

質問者	25 板倉明弘		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 小中学校周辺・主要通学路への防犯カメラ設置促進について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内における防犯カメラの設置状況と設置管理者を伺う。 ② 学校周辺での設置状況と設置管理者を伺う。 ③ 防犯カメラの運用規定と維持および負担の現状を伺う。 ④ 小中学校周辺・主要通学路への防犯カメラ設置促進と経費負担を市教委として取り組むべきと思うが市長の所見を伺う。 			
(2) 全国学力・学習状況調査の結果分析と市教委の指導方針について		教育長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市での学力調査の結果と分析について伺う。 ② 評価或いは反省すべき点があれば伺う。 ③ 今後の課題と指導方針を伺う。 ④ 児童生徒や小中学校へのアンケート調査結果について伺う。 			

質問者	15 小村吉一	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 土砂災害の防止を求めて		市長	
<p>① 「広島土砂災害」を他山の石とすることなく、以下本市の土砂災害防止対策について伺う。</p> <p>ア 近年の災害発生状況（災害の歴史）</p> <p> a 合併後の土砂災害の発生と被害状況（被害額など）及び特徴など</p> <p> b 合併以前に起こった大きな土砂災害（場所やその概要）</p> <p> c その後の復旧対策の状況</p> <p>イ 土砂災害防止対策の現状</p> <p> a 土砂災害防止法による警戒区域、特別警戒区域の数及びその区域内戸数、人口、高齢者、児童数、災害時要援護者数など</p> <p> b 土砂災害ハザードマップ作成における住民参加や周知の状況など</p> <p> c 災害時要援護者関連施設利用者のための警戒避難体制の状況</p> <p> d 土砂災害警戒区域や特別警戒区域地域内または、附近への雨量計測施設数とその集約状況など危機管理に対応する体制</p> <p> e 土砂災害における砂防ダムなどハード面での必要数や住民の要望数、また、その実現数などの状況</p> <p>ウ 今日、日本列島では記録的豪雨が頻発している。そんな中で土砂災害防止のための問題点、課題、今後の施策などについて伺う。</p>			
(2) 来年度以降の地方交付税の算定について		市長	
<p>① 「市町村の姿の変化に対応した交付税算定について」という施策が省令により決定されたと聞いている。その内容と本市での実際について伺う。</p> <p>② 省令の主旨では、合併により行政地域が広域化し、支所機能の重要度が増し、措置されたものとなっている。この財源は、基本的に支所機能の充実に充当されると考えて良いか。</p>			

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 出雲市非正規職員の給与・労働実態を問う		市長		
<p>① 平成26年度人事院勧告の概要を伺う。</p> <p>ア 勧告に伴う市職員の給与の改定はどういう考えで進めるのか。</p> <p>イ 人事院勧告には非正規職員の給与についてほとんど示されていない。非正規職員は公務員ではないのか。</p> <p>② 非正規職員全体の待遇改善を見直す考えはないのか。</p> <p>③ 非正規職員のアルバイトは許されていると思うが見解はどうか。条例等法的な根拠があれば示して頂きたい。</p> <p>④ 幼稚園、保育園の非正規職員の任務、例えば担任制度はどのようなになっているのか。</p>				
(2) 国宝出土30周年を祝う荒神谷史跡公園の実態を問う		市長		
<p>① 国宝出土30周年を迎えた荒神谷史跡公園について、世紀の発見と言われた当時の状況をふりかえりながら、老朽化した現状の整備を求める。</p> <p>ア 島根県内の国宝は何箇所、何個あるのか伺う。</p> <p>イ 銅剣、銅鐸、銅矛レプリカの一部が盗掘、破損しているのではないかという声も聞くが、定期的な清掃、修理は実施しているのか。</p> <p>ウ 見学者用の手摺り、階段の老朽化が著しく、ナイロンロープによる脱落防止も設置してある。国宝出土地としてはあまりにも悲しい状況だが早期の整備を求める。</p>				

質問者	10 井原 優		答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事	
(1) 介護保険について				
<p>① 医療・介護総合法は、安倍政権が進める消費税増税と社会保障一体改革の柱です。自己責任の社会保障の姿勢を露骨に打ち出し、医療と介護の分野で国民に負担増と給付削減を強いる中身です。今回の介護保険制度見直しは、2000年の制度発足以来、高齢者や家族へ給付削減、負担増の影響が及びかつてない大きな制度改変です。以下、3点について伺う。</p> <p>ア 要支援1、2を介護保険制度の対象から外しボランティア事業など市町村へ押し付けられ、必要とする介護サービスが受けられなくなるおそれがあることが懸念される、介護度の重度化も危惧されるが、認識を伺う。（要支援者のサービスの利用状況）</p> <p>イ 特養ホーム入所要件を、「要介護3」以上に重点化し、新たに入所する場合原則1、2、では、認知症、障害を抱えているなど「やむをえない事情」がある場合の特例的認めるとしているが。入所後要介護が改善され、要件を満たさなくなれば退所をせまられるおそれがあるが、認識を伺う。（特養老人ホームの入所者の状況、申し込み者数）</p> <p>ウ 医療・介護総合法の「中止・撤回」を求め、ア、現在の要支援サービスの継続、イ、利用者負担の軽減 ウ、要介護認定の申請権を侵害しない エ、サービスに見合った単価の保証 エ、自治体の必要な事業確保などを国、県へ要求する。</p>		市長		
(2) 斐川学校給食センターの移転新築について				
<p>① はじめに、1954年「学校給食法」が制定されて60年がたちました。子どもたちが6～9年間、毎日食べ続ける学校給食。心身の成長や発達に影響は小さくありません。「給食は教育の一環」ということが明確に位置づけられている学校給食法の精神は、大変すばらしいものです。ところが、文部科学省は1985年「学校給食業務の運営の合理化」を求め、内容は、調理員のパートタイム化、センター方式の導入、調理業務の民間委託を推進、「人件費等の経常経費の適正化を図る」安上がりの学校給食へと、大きくかじを切る中身です。また、「構造改革」路線の下調理業務の民間委託が押し進められました。さらに政府は、学校給食で使う米への助成金を2000年に廃止しました。こうした政府の方針が、給食の現場に混乱と後退をもたらしています。市の学校給食についての方針、あり方について伺う。</p> <p>斐川学校給食センターは、1981年4月に竣工し、築後33年が経過しています。現在、斐川地域の幼稚園、小学</p>		市長		

校、中学校合わせて3,000食を調理しており、園児、児童、生徒の健やかな成長と食育に大きな貢献をはしています。当給食センターは、地盤沈下もあり、施設全体の老朽化が急速に進んでいるほか、床がドライ式になっていないなど衛生面での不安も抱えています。今年度に、老朽化が原因と思われる度重なる異物混入事故も発生しています。子どもたちへの安全・安心な学校給食の提供ができるかどうか地域住民は不安を感じています。早期に再編計画を策定され、老朽化した斐川学校給食センターの新築移転について伺う。

ア 学校給食センター第二次再編整備計画の整備方針について

イ 学校給食の整備で、「自校方式」の整備方針も考えられるかどうか、伺う。

ウ 学校給食における地産地消の推進について伺う。

(3) 生活道路及び幹線道路における安全確保について

① 昨年の相次ぐ通学路での交通事故をうけて、文部科学省などは「緊急合同点検」を実施しました。全国の公立小学校2万160校の通学を調査しました。その結果を今年1月に公表しました。“危ない通学路”7万4483か所が見つかりました。このうち2万2714か所は歩道整備や路肩の拡幅、カラー舗装など実施済みと報告しています。しかし、全国で5万余か所が未対策です。本市の実態を伺う。

ア 生活道路（通学路も含む）における市内の点検箇所数と対策必要箇所を伺う。

イ 歩道整備や路肩の拡幅、側溝整備（道路）カラー舗装など整備数を伺う。

ウ 生活道路及び幹線道路における安全対策について、市の基本的考え、対策などを伺う。

エ 斐川1450号線に隣接している用排水路についての安全対策について伺う。

斐川1450号線に隣接している用排水路は、雨水や生活排水などで役目を果たしていますが、排水路は、防護柵がなく、夜間は照明があるものの、夜間の通行は危険を感じている。昨年12月夜間通行時に排水路に転落し、死亡事故が発生している。荘原市街地も宅地化が進み、大切な生活道路であり、また、児童、生徒の通学路になっている。早急に道路西側に防護柵を設置していただきたい。基本的には、防護柵ではなく道路拡幅を含めて全面改修の必要があると思うが、認識を伺う。

市長

質問者	13 飯塚俊之		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 宍道湖北部の道路整備について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域高規格道路「境港出雲道路」の早期ルート決定と事業化に向けた取り組み ② 出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟の役割と活動状況 ③ 平田東部地域（伊野、東、佐香）の災害時の避難道路の確保 		市長	

質問者	1 1 伊 藤 繁 満		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 豪雨災害の防災対策は万全か伺います。		市長		
<ul style="list-style-type: none"> ① 洪水、土砂災害ハザードマップは、市民にどの程度周知されているか。 ② 地域防災計画にある土砂災害危険個所はレッド基礎調査、イエローゾーン指定がされているがその後、危険個所がどの程度減少したのか。整備状況について。 ③ 局所的な記録的豪雨が各地において頻発し災害の発生により、死者、行方不明者が出ている。1時間100ミリ・1日300ミリを越す降雨量が発生すれば、里山、中山間地の土石流災害、市街地における浸水被害等が発生すると考えられる。こうした記録的豪雨の場合、市民は何処へ避難すべきか。 ④ 宍道湖西岸にある8か所の排水機場は通常時、降雨時共常時運転が必要。西岸地域の心臓部に当たるものであるが機器が不十分であることと、周辺部が海拔0メートルの地域で加えて近年の地盤沈下により、局所的記録的豪雨に対応出来ないのではないかと不安が高まっている。整備点検更新の状況と時期又、地域防災計画ではどのような位置づけがされているか。 				
(2) 異常気象による農作物への影響について伺います。		市長		
<ul style="list-style-type: none"> ① 梅雨明け後の日照不足による水稻、果樹、野菜等の農作物の生育状況。 ② 平成26年産米の需給状況と価格動向への農家所得減収対策。 <ul style="list-style-type: none"> ア コメ余り現象と販売戦略の状況。 ③ 平成27年度の水稲ガイドラインの見直しについて <ul style="list-style-type: none"> ア ハナエチゼン、コシヒカリの刈取りが終りキヌムスメの刈取りが終わるまでに来年度のガイドラインが検討される。 				

質問者	4 神 門 至		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 安心・安全な学校給食を提供するために		市長	
① 学校給食における異物混入について ア それぞれの経過 イ これまでの対応 ウ 今後の考え方（方向性） ② 学校給食の地産地消の推進について ア 学校給食地産地消推進ネットワーク会議の協議の内容と結果 イ 今後の考え方（方向性）			
(2) ぶどう生産農家への支援について		農林水産 調整監	
① 生産農家の状況について ア 生産農家の戸数 イ 就農者の年齢 ウ 品種の割合 ② 市が把握している課題について ③ 市が考えている支援策について ア 高齢化への支援 イ 担い手への支援 ウ 労働力不足への支援			

質問者	8	原 正 雄		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 神戸川再生について			市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① かんがい期2.0t、非かんがい期2.0t～1.5tを常時来島ダムから放流し10年間の来島ダム湖の水質浄化策等を見極めた上で判断したいとする市長発言の確認 ② 中国電力の水利更新許可申請書の不備について国、県に問い正しているか？ ③ 斐伊川と神戸川、それぞれの河川整備方針の流況について、市としてはどのように理解されているか？ 				
(2) 「出雲エネルギーセンター」に替わる「次期可燃ごみ処理施設」の整備スケジュールについて				
<ul style="list-style-type: none"> ① 次期可燃ごみ処理施設の整備計画の確認と進捗状況 ② 設置場所の決定の判断には検討委員会なるものを設けるのか？ ③ 財政事情が悪い中でもこの事業は目標年34年に完成させ可動させるのか 			環境政策 調整監	

質問者	2 岸 道 三		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定について		市長		
① 事業計画策定に向けた今後のスケジュール ② 質の確保に不可欠な幼稚園教諭・保育士の確保と処遇についての考え方 ③ 地域性・独自性のある計画策定の考え				
(2) 総合医療センターにおける経営改善について		市長		
① 現金収支における単年度黒字化の要因 ② さらなる経営改善と今後の課題 ③ 医師確保・看護師確保対策の取り組み				
(3) 空き家対策について		市長		
① 相談件数と主な内容について ② 現行法令で対応できる事例と昨年度対応した件数について				

質問者	6	渡 部 勝		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業について			農林水産 調整監	
<ul style="list-style-type: none"> ① 平成25年度から実施されているこの事業の参加団体は県内で何団体か、また市町村別ではどうなのか、出雲市内での地域別参加団体はどのような状況か ② この事業を実際行ってみてどのような課題と問題点があったのか ③ この事業に対して今後どのような効果を期待しているのか 				
(2) 中山間地域にあった農業振興と地域支援策を				
<ul style="list-style-type: none"> ① 3F事業対象外の農業従事者に対してきめ細やかな支援策を ② 中山間地域の道路・河川の除草作業に対して更なる支援を ③ ため池の整備について ④ 有害鳥獣（熊）対策について 			農林水産 調整監	

質問者	20 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 地域学校運営理事会について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域学校運営理事会制度の目的について伺う。 ② 地域学校運営理事会制度について、どのように評価（良い点および改善すべき点）をしているのか伺う。 ③ 地域学校運営理事会の学校評価の状況について伺う。 ④ 地域学校運営理事会は、人事に関することを教育委員会に意見することができるが、その状況について伺う。 ⑤ 今後、地域学校運営理事会制度について、どのように考えているのか伺う。 		教育長	
(2) 出雲市の雇用状況について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 現在の雇用状況について伺う。あわせて業種別の景気の状況を伺う。 ② 来春の学校卒業者の求人状況について伺う。 ③ 学生や未就労者に対する就職支援の取り組みについて伺う。 ④ 再就職支援の取り組みについて伺う。 ⑤ 若年女性を対象とした、雇用の支援制度を創設する考えはないか伺う。 		産業観光 部長	

質問者	18	遠藤力一		
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 危険ドラッグの実態について			健康福祉 部長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市内での流通の実態 ② 若年層の関与した事件の有無 ③ 若年層の意識 ④ 今後の啓発等の対応 				
(2) 市立図書館の活用について			市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 図書館に関する基本計画 ② 「文化教養型」から「課題解決型」 ③ 移動図書館の今後と宅配サービス、ハンディキャップサービス ④ レファレンスサービス ⑤ 武雄市等の図書館形態についての所感 ⑥ 旧市役所本庁舎跡地への移転 				

質問者	9 大場利信	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲いりすの丘公園の再開について		市長	
<p>① 26haという広大な面積であるが、土地の権利関係はどうなっているのか。</p> <p>② 再生するにあたって異なった用途になれば補助金の返還が生ずるがその額はいくらになるのか。</p> <p>③ 国の制約が及ぶ範囲はどの部分か。それ以外の部分は市独自のフリーハンドで用途を決定することができると考えてよいか伺う。</p> <p>④ あらたな活用に関する事業提案の選考基準について、市として一定の方向性を持っているか。6次産業化ゾーン、多目的ゾーンそれぞれについて伺う。</p> <p>⑤ 提案された事業については原則提案者により整備、管理運営を行うこととするが、「場合によっては市の関与も検討する」とあるが、具体的にはどのような「場合」か</p> <p>⑥ 事業実施の可否を決定する際に、周辺地域住民や外部の有識者などからなる「選定委員会」を設ける意向はあるのか伺う。</p> <p>⑦ 最後に、現在の施設を有効に使ったイベントなり、研修なり、会議なりを行うことで、人が往来する空間にしていくことが必要であるとする。そのような仕組みづくりを考える意向はないか伺う。</p>			
(2) 地域自治区及び地域協議会の見直しについて		総合政策 部長	
<p>① 地域自治区及び地域協議会の見直しが議論されているが、これについてお聞きしたい。</p> <p>ア 地域での市民からの意見を審議したりまちづくり計画の策定や市長からの諮問に応える良い制度と考えるが、これを廃止した場合、地域の意見を聞き、集約する場がなくなるがこの点をどのように考えるか伺う。</p> <p>イ 聞くところによると、自治協会が地域協議会の代わりをするとのことであるが、地域協議会での議論と異なると考えるがこの点はどうか。</p> <p>ウ まちづくりの主体はどこになるのか。</p> <p>エ コミセンの見直しがなされると聞いていたが、その後どうなっているか。</p>			
(3) 斐川町との合併時の引継事項について		市長	
<p>① 10月で斐川町との合併は満3年を迎えるが、当時出雲市へ引き継がれた事業について、実施済みの事業と実施されていない事業について伺う。</p>			

- | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| <p>② 実施されていない事業について、今後の見通しあるいは計画をどのように考えておられるか伺う。</p> <p>③ 引継事業の実施を待ち望んでいる市民へ市長からのメッセージをお聞きしたい。</p> | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|

質問者	32 珍 部 全 吾		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 選挙公約の地域医療の連携と健診体制の充実		市長		
<p>① 一期目の公約に、地域医療の連携により、健診体制を充実させるとされている。</p> <p>ア 現況とこの目的は何か</p> <p>イ 県中、医大、総合医療センターにおいて、病床に空きが出ているが市長の所感</p> <p>ウ 病院不足の都市部からの看者の受け入れについての考えは</p> <p>エ 大阪の病院で中国人富裕層の健診、療養が行われているが、出雲地域の対策は</p>				
(2) 各地域の出身者会活動支援について		市長		
<p>① 出身者会の現況について</p> <p>② 平成25年より支援補助金の減額がなされ平成29年には、東京いずもふるさと会のみ支援し、他は廃止されようとしているが、市長の考えは</p> <p>③ 会員数は平成25年末で、3,970名あり、種々の活用が出来ると思うが市の考えは</p>				
(3) 出雲市における外国人の生活保護について		市長		
<p>① 現在市内には生活保護世帯数716、保護人数は963人となっている。内、外国人は8世帯11名受給されている。外国人に対する生活保護について、市長の基本的考えを問う</p>				